



報道関係各位

国立がん研究センター中央病院 ダ・ヴィンチ大腸手術医師向けトレーニング症例見学施設に認定

2016年7月19日

国立研究開発法人 国立がん研究センター

国立研究開発法人 国立がん研究センター(理事長:中釜斉、所在地:東京都中央区、略称:国がん)中央病院(病院長:西田俊朗)は、内視鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を用いた大腸がん手術の医師向けトレーニング症例見学施設として認定を受けました。日本国内の認定では、静岡県立がんセンターと藤田保健衛生大学病院に次いで3施設目となります。

ダ・ヴィンチ手術のトレーニングについて

世界でも急速に広まっているダ・ヴィンチ手術(内視鏡手術支援ロボットを用いた手術)ですが、医師がダ・ヴィンチを使用し手術を行うためには、関連学会等が推奨するトレーニングが義務化されています。そのトレーニングのひとつに、製造販売元である米国インテュイティブサージカル社から「ダ・ヴィンチ サージカルシステム 大腸症例見学施設」として認定を受けた施設での見学がありますが、ロボット手術の経験が豊富で質の高い内視鏡手術を行っている世界でも限られた施設しか認定を受けられません。

この度の認定は、当センター中央病院大腸外科のダ・ヴィンチ手術技術や40例を超えるダ・ヴィンチ手術実績と良好な成績が認められたもので、今後はさらに我が国のロボット支援大腸がん手術の発展に貢献してまいります。

大腸がんに対するダ・ヴィンチ手術について

大腸の中でも直腸は骨盤の深い部位に位置しており、手術の難易度が高くなっています。また近年は、直腸がんに対しても、患者様に負担をかけない腹腔鏡手術が広がっています。

ダ・ヴィンチ手術システムは、体に負担が少ないだけでなく、ロボット技術を使用することにより、高解像度の3D画像や自在に曲がる器具、手ぶれを除去する機能などを有しており、これを使用することにより腹腔鏡手術よりさらに精度の高い手術が可能となると考えられています。この手術は保険適応を未だ得られていない極めて先進的な治療法です。国立がん研究センター中央病院大腸外科では、この手術が新規治療であることからこれまで臨床試験としてその安全性を確認し、術後の後遺症が少ないことも発表してまいりました。



<本件に関する医師・医療機関からのお問い合わせ先>

国立研究開発法人 国立がん研究センター
人材育成センター教育連携室教育連携係
〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1
TEL: 03-3542-2511 内線 2137

<報道関係からのお問い合わせ先>

企画戦略局 広報企画室
TEL: 03-3542-2511(代表) FAX: 03-3542-2545
E-mail: ncc-admin @ncc.go.jp